

地域密着型金融への取組み状況について

(平成23年度)

平成24年5月

目次

今回、香川銀行における「地域密着型金融への取組み」(平成23年度)について、取りまとめましたので公表いたします。

当行では、平成23年4月から平成25年3月までの2年間、「ACTION to the NEXT STAGE」をメインテーマとした第15次経営計画のもと「金融円滑化・地域密着化金融への取組み」を主要施策のひとつと位置づけ、地元経済に貢献できるよう取組みを進めております。

「お客さまのために お客さまとともに」明日の地元経済の発展を支えていく地域金融機関となるべく、役職員一同全力を尽くしてまいります。

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮 | ・・・2ページ |
| 2.地域の面的再生への積極的な参画 | ・・・13ページ |
| 3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 | ・・・14ページ |

1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

創業・新事業支援、成長段階における支援への取り組み

■高齡化社会の進展に伴う医療・介護分野へのニーズ対応

当行では、高齡化社会の進展に伴う医療・介護分野へのニーズに対応するため、行内体制及び情報提供の充実、また、外部専門家などとの連携強化を積極的に行っています。

●主な取り組み結果

(1) 行内体制の充実

①行内体制の充実

本分野についての行員への研修などを継続して実施し、人材の育成に努めています。

②外部専門家との連携強化

医療コンサルティング会社、医療関連デベロッパー、また、公認会計士などの本分野に関する専門家との連携を強化し、平成23年度中には提携先を3先増加させ、情報提供・サポートを充実させています。

(2) 開業資金などへの対応

本分野における資金については、「香川医療介護開業サポートローン（平成17年12月取扱開始）」、「医療機関債（平成20年3月取扱開始）」などによって積極的な対応を行っています。

本分野における平成23年度の開業及び事業拡大支援は、相談件数70件、融資の取り組み件数32件の実績となりました。

(3) 情報提供の充実

本分野についての情報提供充実の一環として「医療経営セミナー」を継続して開催しています。

平成23年9月には、高松で「サービス付高齡者向け住宅の計画立案と運営戦略」「医療施設・介護施設の地震対策について」とのテーマで、また、平成24年1月には、大阪でトモニHDグループ共同で「2025年に向けたこれからの医療・介護ビジネス」とのテーマで開催しました。

今後ともタイムリーなテーマにて情報提供を行ってまいります。



1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

成長段階における支援への取組み

■海外進出支援に対する取組み

当行では、お取引先の海外進出を支援するため、各種情報提供の充実や外部機関との連携に努めています。

●主な取組み結果

(1)「中国市場開拓」セミナーの開催

平成23年4月に、当行お取引先の中国現地法人の社長様をお迎えし、中国において小口で物販を行うことを目的としたセミナーを実施しました。参加者は17名でしたが「実際に取組んでいる方法をお話いただき大変参考になった。」などの感想をいただきました。

(2)「昇龍上海・ビジネス情報」レポートの発行

平成23年9月より、誇張された情報の多い中国について、現状の理解を深めるため、異業種交流会「香川ニュービジネスクラブ」の会報及びホームページに、毎月1回で計6回、中国在住のコンサルタントによる上海のレポートを掲載し情報提供を行いました。

■農業分野に対する取組み

当行では、農業分野活性化、6次産業化を支援するため、行内体制の整備や外部機関との連携に努めています。

●主な取組み結果

公益財団法人かがわ産業支援財団が運営を行う「かがわ農商工連携ファンド」に資金供給を行い、農商工連携事業に参画しています。具体的には、平成23年11月の農業者と菓子業者とのマッチング事業である「スイーツマッチング事業」への協力など、地元経済活性化に対する取組みについて継続的に支援しています。

また他にも、平成23年10月には中小機構四国の主催する「試食商談会」への支援、平成24年1月には高松商工会議所との共催による「農商工マッチングフェア」の開催など、当分野についてのマッチング事業や地産地消のための異業種交流会などについて共催、参画を行っています。



1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

経営改善・事業再生支援への取組み強化

■ 経営改善支援等の取組み実績

当行では、融資部内の経営改善担当を中心として、お取引先の経営改善をサポートしています。

● 主な取組み結果

(1) 行内体制の充実

担当者6名により、営業店支援体制を強化・整備し、行内研修などにより経営改善計画の策定支援等の取組み指導を実施しました。

(2) 外部機関との連携強化

- ① 「中小企業再生支援協議会」との連携強化により事業再生の支援を実施しました。
- ② 「中小企業支援ネットワーク強化事業」を積極的に活用し、85社の経営相談に対応しました。

(計数実績)

項目		実績(21年度)	実績(22年度)	実績(23年度)	
経営改善への取組み	経営改善支援取組み先数	131先	113先	134先	
	再生計画策定率 (正常先を除く)	再生計画策定先数	82先	91先	129先
		経営改善支援取組み先数	131先	113先	134先
		再生計画策定率	62.6%	80.5%	96.3%
ランクアップ率	ランクアップ先数	5先	17先	9先	
	経営改善支援取組み先数	131先	113先	134先	
	ランクアップ率	3.8%	15.0%	6.7%	
中小企業再生支援協議会への案件持込み		5先	4先	3先	

1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

成長段階における支援への取組み・業種再生や業種転換に対する支援

■コンサルティング機能の発揮に向けた経営相談体制の整備

当行では、コンサルティング機能の発揮に向け、外部専門家等を活用した相談体制の整備を行っています。併せて、経済産業省の施策である「中小企業支援ネットワーク強化事業」などの活用により、中小企業が抱える経営課題の解決を目指しています。

●主な取組み結果

(1) 中小企業診断協会との「経営相談会」の開催

当行では、平成23年7月に、社団法人中小企業診断協会香川県支部と経営コンサルティング業務に関する委託契約を締結し、共同で「経営相談会」を開催しています。本相談会は、お取引先が経営相談を受けられる機会を無料で提供するものです。

平成23年度中には、香川県内6ヶ店にて、9社が中小企業診断士との面談を実施し、課題解決に向けた取組みを実施しました。

(2) T K C四国会との提携による支援

当行では、平成23年7月に、T K C四国会の会員税理士・公認会計士を通じて提供する「T K C経営改善計画策定支援サービス」等に関して、覚書を締結しました。

T K C四国会と連携してセミナーや相談会、経営改善計画策定支援など必要なサービスを提供し、お取引先への経営支援を実施します。

(3) 「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」に係るパートナー協定の締結

当行では、平成23年9月、国土交通省と「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」に係るパートナー協定を締結しました。

同事業は、建設企業の新事業展開、事業承継、内部管理の効率化、企業再編・廃業、経営革新など、経営上の課題に対して、各地域の「経営戦略相談窓口」で、建設業に精通した中小企業診断士、公認会計士等の専門家よりアドバイスを受けることができます。

当行では、パートナー機関として同事業を活用し、建設企業の支援を行っています。

1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

業種再生や業種転換に対する支援

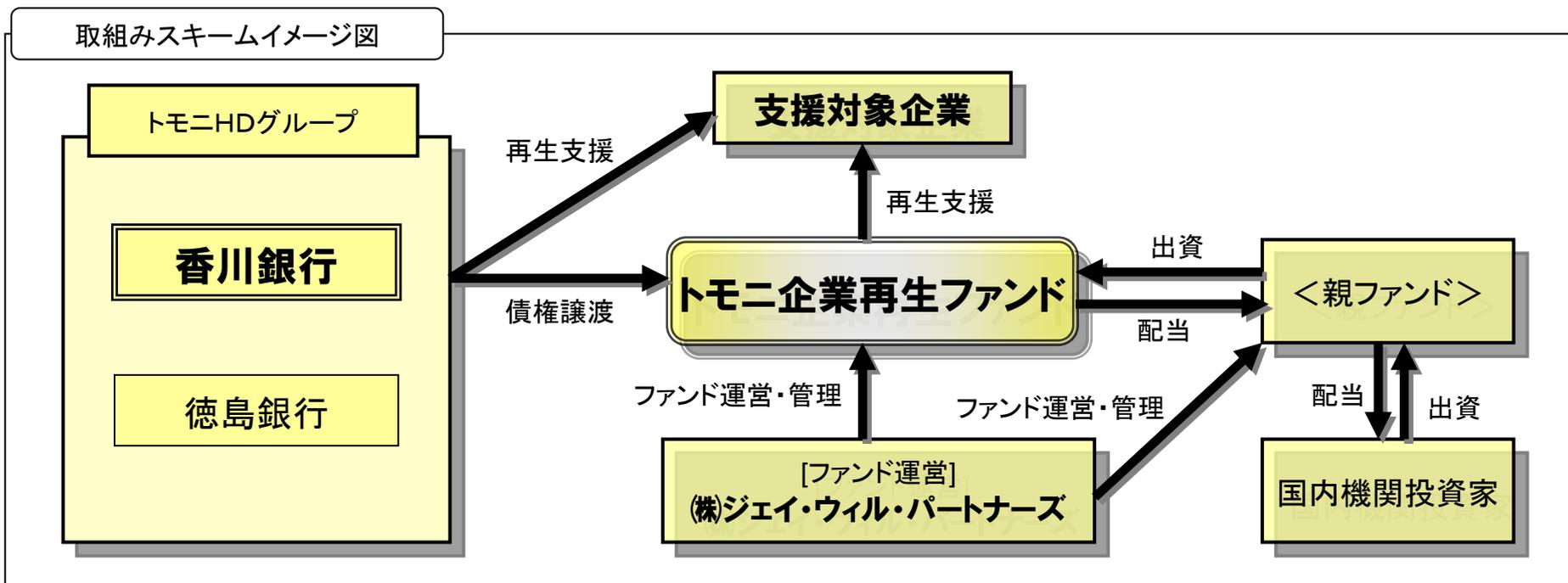
■「企業再生ファンド」を活用した地域企業再生スキームの取組み

当行では、お取引先企業の再生に向けた支援を強化するため、トモニHDグループ共同で、企業再生ファンド「トモニ企業再生ファンド」を活用した地域企業再生スキームを創設しました。

●主な取組み結果

本取組みは、お取引先企業のうち過剰債務への抜本的な対策や事業の再構築を必要としている先に対し、専門家のノウハウを結集したファンドを活用し、再生支援を行うものです。

ファンドは、地方企業の再生に実績のある運営会社、株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズにより運営されます。



1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

■ 動産担保融資（ABL）の取組み強化

当行では、不動産担保や個人保証に過度に依存しない多様な融資手法への対応を進めていますが、その一環として、今回、新たなABL（Asset Based Lending）スキームを構築し、「棚卸資産担保融資」の取扱いを開始しました。

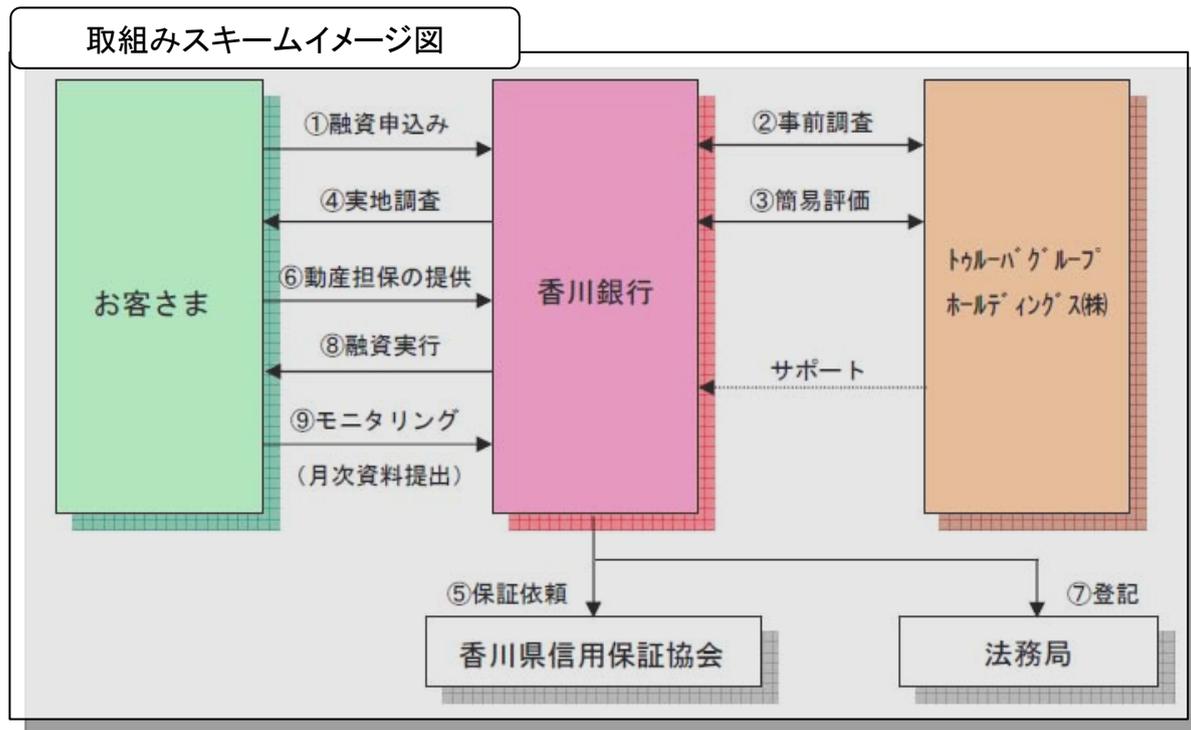
● 主な取組み結果

当行では、平成24年2月より、香川県信用保証協会の流動資産担保融資保証制度（ABL保証）を活用し、新たな動産担保融資スキームとして「棚卸資産担保融資」の取扱いを香川県内の営業店において開始いたしました。

本件は、当行が業務提携しているトゥルーバグループホールディングス株式会社（以下「トゥルーバ社」）が提供する動産担保の「簡易評価サービス」を活用することにより、これまでABLの課題とされていた動産評価コストの引下げを実現したものです。

また、トゥルーバ社との評価分野での連携により、動産担保に関する評価の妥当性向上や管理の高度化が実現され、お取引先の多様な資金調達に対応できるものと考えられます。

平成23年度中には、1件の取組み実績となりました。



1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

■「トモニ成長戦略ファンド」への取組み

当行では、平成22年8月より、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給」制度を活用した「トモニ成長戦略ファンド」を活用し、成長戦略分野での成長を目指すお取引先の資金需要にお応えしています。

●主な取組み結果

- ・平成23年度中の取組み実績

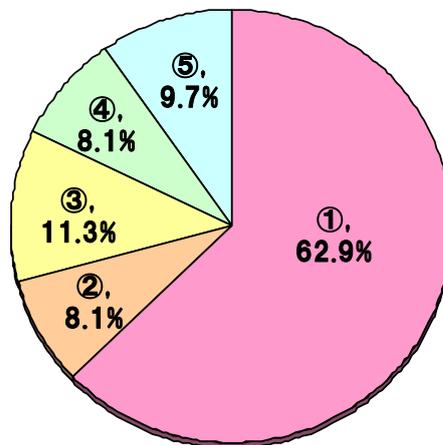
融資実行件数 62件

融資実行金額 5,713百万円

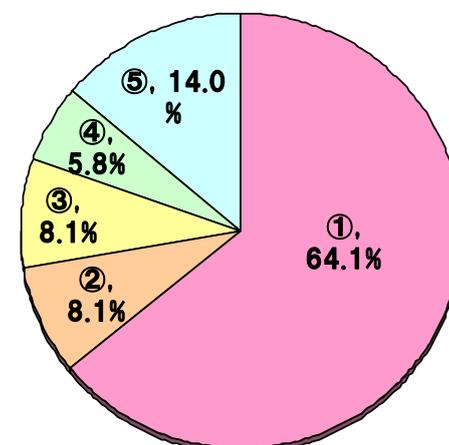
- ・当行取組み事業分野

- ①医療・介護・保育・育児関連事業
- ②農林水産業、農商工連携事業
- ③社会インフラ・環境・エネルギー事業
- ④起業、観光事業、地域・都市再生事業、
雇用支援・人材育成事業
- ⑤造船・海運関連事業

【取組事業分野別の件数割合】



【取組事業分野別の金額割合】



■私募債への取組み

当行では、お取引先の特性を活かした資金供給手法の一つとして、私募債の受託を積極的に行っています。

●主な取組み結果

平成23年度中の引き受け実績は、12件、1,590百万円となりました。

今後とも、不動産担保に依存しない資金調達手法の支援として、積極的な対応を図っていきます。

1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

成長段階における支援への取組み

■ ビジネスマッチングなどを活用した企業支援への取組み

当行では、ビジネスマッチングなどの手法を活用し、外部機関との連携による経営課題解決支援やアンテナショップ「徳島・香川トモニ市場」の活用によるお取引先のPR・販路拡大支援につながる取組みを行っています。

● 主な取組み結果

(1) 商談会等の共同開催

① 地方発！『食の魅力発見』プロジェクト2011への参加

第二地方銀行23行の主催により、平成23年7月、東京において、地方に埋もれがちな「食」に関する名品・特産品を全国に広く流通させることを目的として、マッチングフェアを開催し、当行のお取引先も出展しました。

② 香川県食品商談会の共同開催

香川県、かがわ産業支援財団及び当行を含む県内金融機関の共催で、平成23年10月、香川県内食品関連企業と百貨店、スーパー等のバイヤーによる商談会が開催され、当行お取引先もセラー及びバイヤーとして参加しました。

(2) お取引先商品PRへの取組み

当行では、お取引先の商品を多様な場面で活用することで、PR・販路拡大支援を行っています。

具体的には、トモニHD一周年記念定期預金での抽選プレゼント商品「選べるギフト」、株主総会での記念品、交流会記念品などへのお取引先商品の採用や香川ニュービジネスクラブでの大規模イベント時の商品PR展示など、積極的な取組みによりPR支援を行っています。



1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

成長段階における支援への取組み

■ ビジネスマッチングなどを活用した企業支援への取組み

● 主な取組み結果

(3) 「トモニビジネスマッチングサービス」の取扱い開始

当行では、トモニHD設立に伴う共同施策の一環として、平成23年11月より「トモニビジネスマッチングサービス」の取扱いを開始しました。

本制度は、お取引先の各種ビジネスニーズを香川・徳島銀行両行で共有し、ニーズの対象となるお取引先を紹介（マッチング）することで、お取引先の売上拡大などの経営課題解決支援を目的とするものです。

これまでも当行では単独で、お取引先の新たな販売先・仕入先のご紹介などのビジネスマッチングに取り組んでいましたが、経営統合による両行の幅広いネットワークを最大限に活用することで、ビジネスチャンスの拡大、事業展開をサポートできるものと考えています。

(4) ビジネスマッチング提携先等の増加への取組み

当行では、お取引先の経営課題解決支援の一環として、ビジネスマッチング提携先を増加させています。

具体的には、当行がビジネスマッチング提携契約を締結している企業に対し、お取引先を紹介することで、課題解決につなげるものです。

平成23年度中には、余剰在庫・遊休設備等の資産処分（キャッシュ化）支援のための紹介契約の締結など4社との締結を増加させました。経費削減や事業承継コンサルティングなど既存の契約を含め、平成24年3月末時点で31社と提携をしています。

当行では他にも、産学連携推進のための香川大学、香川高等専門学校との提携や、また、M&A推進のためにM&Aアドバイザーとの提携なども実施しており、ビジネスマッチング提携を活用した課題解決に積極的に取り組んでいます。

1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

成長段階における支援への取組み

■ 「徳島・香川トモニ市場～ふるさと物産館～」の取組み

当行では、ネーミングライツを活用したスキームにより、平成22年10月より、東京JR有楽町駅前の東京交通会館1階にアンテナショップ「徳島・香川トモニ市場～ふるさと物産館～」をオープンしています。

お取引先の東京でのPR及びビジネスマッチング拠点として、また、香川県、徳島県の地域情報発信拠点として活用されています。

● 主な取組み結果

(1) アンテナショップの売上

平成23年度中は、金額では約75百万円、数量では約23万個の売上で、当初計画以上の売上となりました。百貨店やアンテナショップ関連イベントへの出店なども実施し、地域産品のPR・販売支援を行っています。

(2) PR活動

平成23年10月には、オープン1周年を記念して、香川県、徳島県、三豊市のご協力により「トモニ市場1周年記念マルシェ」を開催しました。

(3) 関係機関との連携

店舗内に、香川県・徳島県の優先出品用にさぬき産業工芸館「サン・クラック」及び徳島県に専用棚を設置していただきました。また、中小機構四国との連携により、地域資源3法による開発商品の販売コーナーを設置しました。消費者の声のフィードバックなどによる販路拡大支援を行っています。

(4) 情報発信拠点としての活用

平成23年6月には、さぬき市商工会による新商品の発表会会場としてご利用をいただきました。継続して四国の観光ガイド、イベント情報の配布など地域情報の発信拠点として活用しています。



1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

成長段階における支援への取組み

■香川ニュービジネスクラブを通じた経営情報提供への取組み

お取引先企業の異業種交流組織「香川ニュービジネスクラブ（KNBC）」を運営しています。このKNBCを通じて、各種セミナー・研修会の開催、また、交流会などを通じたビジネスマッチング支援を実施しています。

●主な取組み結果

（1）企業経営セミナー等の開催

経営情報提供の一環として、各種セミナー等を開催しています。平成23年度については、企業経営セミナーとして10回、新入社員や女性リーダー向けなど対象を絞った研修会を全5回実施し、延359名にご参加いただきました。

平成23年5月に実施した企業経営セミナー「今日から始めるFacebook（フェイスブック）のビジネス活用法」では、今話題のソーシャルネットワークのビジネスでの活用法について、事例を交えてお話いただきました。参加者からは「自社でもマーケティングツールとして活用したい。大変参考になった。」とのご感想をいただいています。



（2）ビジネスマッチング支援への取組み

昨年度に引き続き、徳島銀行の運営する異業種交流組織「とくぎんサクセスクラブ」と共同で、お取引先のビジネスマッチング支援及び会員企業のPRを目的とした冊子「TOMONY Business Information」を、平成23年7月と平成24年1月の2回発行しました。

経営統合による香川・徳島銀行両行の幅広いネットワークにおいて、ビジネスニーズを相互に交換することで、PR及びビジネスマッチングを促進し、お取引先の売り上げ拡大に貢献することを目的としているものです。

2.地域の面的再生への積極的な参画

地域活性化につながる取組みへの支援

■松山市における中心市街地活性化事業への取組み

当行松山支店が、松山市「松山中心市街地再開発」の計画地区内となったことを機に、中心市街地の活性化や利便性の向上を目的として、既存の当行店舗の更新と隣接地において共同で建替事業を実施しています。

●主な取組み結果

松山市では中心市街地活性化を図るため「松山市中心市街地活性化基本計画」を策定し、各種再生事業を行っています。

今回、当行松山支店が中心市街地再開発の計画地区内となったことを機に、整備組合を組織し、隣接地を含めた一体的な開発として、当行店舗と立体駐車場の共同ビルの建設を行い、その活用を図るものです。

大型の自走式立体駐車場及び駐輪場の整備を行うことによって、「駐車場不足により郊外店へ客が流れる」「一方通行が多く渋滞が多い」など長年懸案とされてきた中心市街地へのアクセスを改善し、来街者を増やし、近隣商店街のにぎわい創出にも寄与できるものと考えています。

さらには、施設周辺に歩行者空間を整備することで、歩行者にやさしい空間を創出し、松山市が目指す「歩いて暮らせる街づくり」に寄与できるものと考えています。

【開発予定地】



【事業概要】

事業名	二番町三丁目南地区優良建築物等整備事業
場所	愛媛県松山市二番町三丁目
規模	土地・約2,360㎡、建物・鉄骨鉄筋コンクリート造5階建、約6,632㎡
工期予定	平成24年6月～平成25年1月

3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域活性化につながる多様なサービスの提供

■CSR（企業の社会的責任）への取組み

当行では、CSRの一環として各種施策に取り組んでいます。

●主な取組み結果

（1）環境への取組み

①「チャレンジ25キャンペーン」への取組み

政府が展開している温室効果ガス削減のための国民的運動「チャレンジ25キャンペーン」に参加し、地球温暖化問題に積極的に取り組んでいます。

また、環境省が地球温暖化防止対策の一環として実施している「CO₂削減・ライトダウンキャンペーン」の趣旨に賛同し、クールアースデーである7月7日には、本部および全支店において建物内の照明設備を18時以降消灯いたしました。

引き続き「クールビズ」や「屋上緑化」をはじめとする省エネ活動を実施するなど、地球温暖化対策に積極的に取組み、「環境にやさしい銀行」として、地域の皆さまとともに環境保全に努めてまいります。

②「グリーンボンド」の購入による環境への取組み

世界銀行（国際復興開発銀行）が発行する「グリーンボンド」を500万米ドル購入いたしました。グリーンボンドとは、地球温暖化対策事業などを支援するために発行された債券で、投資を通じて地球規模の温暖化問題に貢献できるものと考えています。

③環境に配慮した金融商品・サービスの提供

環境にやさしい低公害車の購入資金への対応商品として、かがわの環ローン「オート」を取扱っております。本商品は国土交通省が認定する低排出ガス車のうち、75%低減レベルを達成した車やハイブリッドカーの購入に対し、通常のオートローンより低金利を適用するものです。



3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域活性化につながる多様なサービスの提供

■CSR（企業の社会的責任）への取り組み

（2）社会貢献・社会福祉活動

①シリーズ「かがわ歩っ人（ホット）ウォーク」

当行では平成4年より、地域の自然や歴史・文化を再発見し、参加者のコミュニケーション活性化、健康増進の機会提供を目的としてウォーキング企画を継続しております。「かがわ歩っ人ウォーク」シリーズは、平成22年の瀬戸内国際芸術祭開催以来「海」・「島」への関心が高まるなか、地元金融機関として芸術祭の次回開催までの気運盛り上げに、微力ながら寄与したいとの思いで企画したものです。平成23年10月に、第1回として「瀬戸内海遊覧と粟島」を実施いたしました。

②女子ハンドボール部の活動

「香川銀行チームハンド」は四国で唯一の実業団チームとして、各種全国大会に出場しております。平成23年8月に開催された第15回ジャパンオープンハンドボールトーナメントでは、男女を通じて初の5連覇を達成しております。

また、競技の普及や技術向上、ジュニア育成のために小中学生を対象とした大会「香川銀行杯」を設けたり、ハンドボール教室の実施など、ハンドボールを通じて地域との交流活動を行っています。



3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域活性化につながる多様なサービスの提供

■CSR（企業の社会的責任）への取り組み

（2）社会貢献・社会福祉活動

③かがわ海外交流財団

当行設立の「かがわ海外交流財団」において、国際社会に通用する人材を育成するべく、オーストラリア・タスマニア州へ毎年香川県内在校の高校生を派遣しております。これまでに22回、高校生114名・引率者42名・計156名を派遣いたしております。他にも毎年、中学生・高校生の英語スピーチコンテストも実施しております。

④公益信託香川銀行高齢者生涯学習振興基金

高齢者教育の発展・向上に寄与することを目的として、当行が設立している「公益信託香川銀行高齢者生涯学習振興基金」より、平成23年度も10団体に計200万円の助成を行いました。設立以来の助成累計は131の団体及び個人に対し、1,855万円となっております。

⑤地域イベントへの参加

善通寺市、総本山善通寺、善通寺市観光協会の共催による地域活性化イベント「四国霊場88サイクル駅伝」に、平成21年より参加いたしております。平成23年度も香川銀行より37名、トモニHDグループ全体で計49名が参加し、全コース1,400kmをリレーにより走破いたしました。

